

平成23年度八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

		種目 理科 (1/2 枚目)		
調査の観点	発行者名	東京書籍	大日本図書	学校図書
1 内容 (1) 児童の発達段階に対する配慮がある。 (2) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮している。 (3) 各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮している。 (4) 児童の意欲、関心を引き出す配慮がある。		(1) 既習事項についての具体的記述(“思い出そう”)や想起する写真等があり、配慮されている。 (2) 配慮されている。 (3) 一部で内容の取扱いに対して配慮不足の単元がある。 (4) 指導すべき内容の押さえるべき視点が明確であり、児童の関心・意欲を喚起させやすい。	(1) 既習事項については、記述からの話の広がりもあるが、つづやきとしてのものが多く、見落としがちである。 (2) 配慮されている。 (3) 配慮されている。 (4) 読み物資料も分かりやすく記述されており、児童の関心・意欲を喚起させやすい。	(1) 既習事項の内容としては記述不足である。 (2) 配慮されている。 (3) 一部で内容の取扱いに対して配慮不足の単元がある。 ・安全への配慮不足(石灰水を扱う場面でのイラストのキャラクターが安全めがね着用無し) (4) 児童の活動の写真が多く、活動のイメージがわかりやすい。しかし、反面、活動が分かってしまっている分、課題解決に向けての意欲が薄れることもある。
2 構成及び分量 (1) 内容の組織配列及び発展的記述に対して配慮している。 (2) 各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮している。 (3) 教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮している。		(1) 各単元において、「活用しよう」「やってみよう」で学習の発展的なつながりを意識できるよう配慮されている。 (2) 分量は適当である。 (3) 各単元において、「たしかめよう」「活用しよう」「やってみよう」が見開き1ページにまとめられていて、見やすく、扱いやすい。 ・「理科の広場」で実生活に関係する資料が多く載せられている。	(1) 小・中学校の理科学習を意識した系統・関連性を示す工夫が不足。 ・「理科の玉手箱」、「ジャンプ」などの発展的な資料が充実している。 ・自由研究が充実している。 (2) 発展的な内容まで細かく扱っているために、分量が多く、児童の負担になる。 (3) 「振り返ろう」「学んだことをいかそう」が各単元の終末にあり、基礎的事項、発展教材を押さえている。 ・「ジャンプ」や「やってみよう」で、物作りの例が多く載っている。	(1) 単元の一部で、他社と配列が異なるところがある。 ・読み物資料が多く、発展的な内容を取り扱っている。 (2) 付録の資料が少ない。 (3) 基礎的な事項を押さえた内容表記が充実している。 ・巻末の「説明できるかな」で説明する力を伸ばそうとしている。 ・学習の中での分かりやすい話し方「話型」について説明がある。 ・理科室の使い方や実験器具等の使用方法について説明がある。
3 表記及び表現 (1) 児童にとって読みやすい表現である。 (2) 印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすい。		(1) 配色やレイアウトを工夫し、学習課題が見やすく、表現も分かりやすくなっている。 ・縦表記、横表記が混在している。 (2) 外国の児童の挿絵が入り、国際色豊かである。 ・第6学年「植物のからだとはたらき」は写真が他社より小さく全体に渡って内容がよく分からないものがある。実験や観察の時間が示されていない。 ・写真は大きく見やすいが、一部に小さいものも混在する。 ・挿絵のキャラクターが多い。 ・12種類のマークを使っている。	(1) 文字の大きさ、文字色等読みやすい。 (2) 使用マークが9種類あり安全の配慮あり。 ・資料が豊富である。 ・写真はとも見やすい。 第5学年の教科書に「車椅子に乗った少年」のキャラクターを使っている。	(1) 文字の大きさ、字体、字の色が混在しているので見にくい。 ・児童にとって難しい言葉つかいの説明書きがある。 (2) 使用マーク7種、まとめとして自己チェックできる。安全への配慮あり ・写真や資料がとても豊富であり、鮮明であるが、文章に目が行きにくい。まとめ方の工夫が足りない。図や絵の色使いが薄く文字が小さく読みづらい。観察カードの文字がパソコンの文字で児童にとって親近感が感じられない。
4 使用上の便宜 (1) 全体の構成が見通せるように配慮している。 (2) 課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮している。 (3) 印刷・装丁に対して配慮している。 (4) 地域性に対して配慮している。		(1) 裏表紙に構成が出ていて全体を見通せるようになっている。 ・目次が大きく、一年間の学習を見通すことができる。 (2) 各単元の始めに「調べよう」という形で学習することが出ているので、課題発見の効果が薄くなる。 (3) A B版ワイド ・資料・図版等に余裕ができるが、持ち運び、机上の作業に課題がある。 ・印刷・装丁に配慮あり。 (4) 地域性に配慮されている。	(1) 上下巻共に、目次に「問いかげ」という形で表記されている。巻末に学んだことの振り返りが載っている。 (2) 第6学年の新単元「電気の利用」でいえば十分なところはないが、ある程度配慮されている。 (3) 教科書(A B版ワイド) ・資料・図版等に余裕ができるが、持ち運び、収納に課題ありか。 ・内容・装丁は配慮されている。 ・あじろ綴じ ・上下巻に分かれているので、児童の持ち運びには負担にならない。 (4) 写真・図版等に「八王子市」が多く取り上げられている。 ・生物教材は、手に入りやすく、指導する上で活用しやすい。	(1) 目次の他に「領域別」「全学年」の構成が見通せる頁があるが、クレイ人形が却って分かりにくい。 (2) 配慮されている。 (3) A B版ワイド ・資料・図版等に余裕ができるが、持ち運び、机上での作業に課題ある。 ・内容・装丁は配慮されている。 ・目次の折込が破れやすい。 (4) 一部、配慮されているが全国版を意識している。
5 総合所見 (1) 教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。 (2) 現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。		(1) 問題解決の流れが丁寧な扱われていて、指導しやすい。 ・現行より環境にかかわる読物資料が多く掲載されている。 ・学習課題が科学的思考の育成に沿うように編集され使いやすい。 ・全体的に表現が分かりやすく、親しみやすい。ワークシートが充実している。 (2) 現在の教科書より情報量が多く、すぐれている点が多い。 ・現在の物より内容が分かりやすいが詳しくない。 ・合本	(1) 巻頭に詩があったり、児童に親しみやすい表現と編集で使いやすい。 ・全体的に統一されている。また、資料も多くあるので、児童の興味・関心を引き起こしやすい。 ・理科の資料としても活用できる。 (2) 現在の物より情報量が多く、すぐれている点が多い。 ・内容的に分かりやすく、見やすくなっている。 ・第4学年以上は、分冊になっている	(1) 図や説明が具体的に分かりやすいので、学習活動を確実に進められ、指導しやすい。 (2) 現在の物より情報量が多い。 ・合本 ・「保護者の方へ」というコーナーがあり、児童の学習の仕方について、理解を得るようにしている。

発行者名 調査の観点	教育出版	信濃教育会	啓林館
1 内容 (1) 児童の発達段階に対する配慮がある。 (2) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮している。 (3) 各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮している。 (4) 児童の意欲、関心を引き出す配慮がある。	(1) 発達段階に対する配慮ある記述はあるが、既習事項が明確でないの で見落としがちである。 (2) 配慮されている (3) ・安全に対する記述が少ない。 ・塩酸を使った実験で安全眼鏡の着用がなく、安全への配慮が不足して いる。 (4) 余白が他社に比べ多い。		(1) 各学年における情報量が多い。 (2) 配慮されている (3) 一部で内容の取扱いに対して配慮不足の単元がある。 (4) 情報量が多く興味・関心の焦点化が難しい。
2 構成及び分量 (1) 内容の組織配列及び発展的 記述に対して配慮している。 (2) 各領域の分量について児童の 発達段階を十分に配慮している。 (3) 教科の特質に即した主要教材 において基礎的事項をおさえ、補 充教材並びに発展教材等の取扱 いに対して配慮している。	(1) 「チャレンジ」(発展教材)が単元ごとでなく、後ろのページにまとめられ ているが、取扱いにくい。 (2) 分量は適当である。 (3) ・「確かめ」は、児童の学習のまとめを効果的にしている。その反面、ワー クテスト的で、やや知識、理解重視になっている。 ・発達段階に合わせた問題解決の能力を育成する教材となっている。 ・「科学のまど」では、実生活に即したものを扱っている。また、読み物資料 が児童にとって興味深いものが多い。		(1) 「理科の広場」を設定し、歴史、世界、最新情報、生命についての資料 が児童の関心を引き付ける内容である。 (2) 非常に丁寧で分かりやすいが、説明事項が多いため、ぎっしりと内容 が詰まっている感じを受ける。 (3) ・「学習をまとめよう」では、ノート見本が書かれていて、ノート指導に生か ずことができる。 ・「学習のまとめ方」を設定し、レポートの書き方を説明している。
3 表記及び表現 (1) 児童にとって読みやすい表現 である。 (2) 印刷、写真、挿絵、図形等が 見やすく、分かりやすい。	(1) ・文字の大きさ、文字色等読みやすい。 ・科学的用語の説明をしているので理解しやすい。 ・模範のレポートの文字や絵が小さくて読みづらい (2) ・使用マーク10種で発展、安全性に配慮あり ・資料が豊富。 ・レイアウトが見やすい。 ・児童の興味・関心を引き起こすうえで、実験の様子の写真に効果的でな いものがある。 ・キャラクターにアトムを使っている。		(1) ・文字の配色に工夫がある。 ・文字が小さい部分が多く、行間が狭く、読みにくい。(文字の大小の差、 特に、学習のまとめの文字が児童の字であるところは親近感があるが、文 の量が多く、読みにくい箇所もある。) (2) ・17種マークを活用、学習の発展、安全等への配慮あり ・児童の手書きの文がよく出てくる。資料が豊富。後半のカラー写真がき れい。 ・第4学年に外国の児童のキャラクターが出てくる。国際色豊かである。 ・レイアウトが見づらい。 ・写真が小さくて観察、実験前後の様子がほとんど判別できないものもあ る。
4 使用上の便宜 (1) 全体の構成が見通せるように 配慮している。 (2) 課題発見、課題解決に向けた 学習が効果的に進められるように 配慮している。 (3) 印刷・装丁に対して配慮して いる。 (4) 地域性に対して配慮している。	(1) 目次のみで折込の形で、巻頭ではないので見にくいし、破れやす い。 (2) 第6学年「電気の利用」の単元が「電流による発熱」と分けられてお り、流れとして不自然という感もある。(他社は単元内) (3) ・B5版 持ち運びやすいが文章量などで詰め込み感はある。 ・印刷・装丁、配慮されている。 ・目次が折込でやや見にくい。 (4) 特に配慮はない。		(1) 目次のスペースが狭く、文字のみである。 (2) 配慮されている。 (3) ・B5版 持ち運びやすく、机上の作業がやりやすいが、詰め込み感はある。 ・全体的に色使いが見づらい。 ・装丁の配慮あり。 (4) 全国を意識(やや西日本を多めに取扱っている)している。
5 総合所見 (1) 教科の指導及び児童の学習 活動の視点から総合的にみてどう か。 (2) 現在八王子市で使用している 教科用図書と比べてどうか。	(1) ・知識・理解が充実している。全体的にバランスよく配慮されている。 ・全体的に地味な色使いであり、文字が読みづらい。 ・実験手順の説明や写真やイラストが丁寧さに欠ける。 (2) ・現在の物より情報量が多い。 ・現在の物より内容面で易しい表現ではあるが詳しくない。 ・合本		(1) ・書いてある内容(参考、発展的資料等)が多過ぎるために、受身的な学 習になる。 ・解説に使われているイラストや写真が小さく、迫力不足である。 ・小中一貫教育を意識した内容となっている。 ・経験年数の少ない教員にとっても指導に役立つ工夫がある。 (2) ・現在の物より、格段に情報量が多い。 ・「保護者の方へ」というコーナーがあり、児童の学習内容について、保護 者と一緒を考えられるようになっている。 ・合本

見本の配布がなかったため、調査・研究せず。